

産子性別と分娩難易を活用しよう

検定成績表には、検定牛毎に分娩情報として、分娩年月日と産次、産子性別、分娩難易が表示されています。産子性別と分娩難易は、繁殖関連の疾病情報として極めて重要な意味を持ち、図のように整理されています。

産子性別が双子以上であった場合や分娩難易が3、4、5と難産であった場合は、子宮内膜炎などの繁殖障害を引き起こすリスクを3~4倍も高めてしまうことが知られています。分娩後2~3カ月も経過してから、「あれ?発情がおかしいな」と慌てないようにしましょう。

また、こういった検定牛は分娩後の食い込みも悪く低乳量を伴うこともしばしばですので、生乳の生産性にも大きく影響します。検定成績表に継続して分娩難易と産子性別が表示されているのは、こういった飼養管理上で気をつけないといけない牛を注意喚起するためです。分娩後2~3カ月も経過してから、「あれ?発情がおかしいな、乳量も出ないな」と慌てないようにしましょう。

図で示した272号牛と295号牛はフリーマーチンと死産で、いずれも分娩難易が4ですから、その後の牛体の健康管理には特に注意しなければならないことがわかります。

また、検定成績表をざっと目通して、難産が多いと感じられた場合は、乾乳期の飼養管理に過肥などの問題がある場合もあります。合わせてチェックするようにしましょう。

さて、分娩難易と産子性別は、検定立会の際に、農家から検定員に報告する検定項目です。みなさんはきちんと報告されていますか?報告しなければ検定成績には掲載されませんので、今一度確認してみましょう!

個体検定日成績

牛コード	年月日	分娩		
		産次	産子性別	難易
0271	221231	5	♂	1
0272	221205	6	♂♀	4
0275	221002	6	♀	3
0281	220824	8	♂	1
0288	221101	5	♀	1
0291	221006	4	♂	1
0295	221201	3	死産	4
0296	220204	2	♀	2
0297	221104	4	♂	2

産子性別

♂ : 雄分娩
♀ : 雌分娩
♂♂ : 雄の双子
♀♀ : 雌の双子
♂♀ : 雄雌の双子(フリーマーチン)
3子 : 三つ子以上
死産 : 産子死亡

分娩難易

1 : 介助なしの自然分娩
2 : ごく軽い介助
3 : 2~3人を必要とした助産
4 : 数人を必要とした難産
5 : 外科的処置を必要とした難産または分娩時母牛死亡

← 要注意

← 要注意

(補足)

分娩難易の報告時によくある誤り

▼分娩時にお父さんがごく軽い介助をしたとします。しかし、介助の際にお母さんも手が空いていたので、一緒に介助したとします。この時の分娩難易報告は、介助として2人を必要とした訳ではありませんので、あくまでも「2:ごく軽い介助」になります。2人で介助したからといって「3:2~3人を必要とした助産」ではありません。

INFORMATION

今年もやります! お試し検定!

最大6ヶ月無料!!

繁殖台帳Webシステムも利用可能!!

牛群検定を無料で体験できる牛群検定の試行(通称「お試し検定」)を、全国から募集しています。この事業は牛群検定にかかる諸経費を最大6ヶ月間家畜改良事業団がサポートするというお得な事業です。お知り合いの検定未加入の酪農家に「今がチャンス!」とお伝え下さい。牛群検定を始めれば、自宅のパソコンや携帯電話で検定データを活用できる「繁殖台帳Webシステム」も使い放題です。また、乳量計のレンタルもあわせて行っています。牛群検定の試行、乳量計レンタル、繁殖台帳Webシステム等について、詳しくは家畜改良事業団ホームページをご覧ください。

家畜改良事業団 検索

E-mail: toiwase@liaj.or.jp 電話: 03-5621-8921

牛群検定実施牛と未実施牛の乳量の比較
(検定中1歳以上の年間検定乳量)

検定中1歳以上の年間検定乳量 (検定実施牛)

検定中1歳以上の年間検定乳量 (未実施牛)

検定中1歳以上の年間検定乳量 (検定実施牛)

検定中1歳以上の年間検定乳量 (未実施牛)

牛群検定の効果、一度実感ください!

日本政策金融公庫農林水産事業からのお知らせ -その④7-

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 酪農経営における長期運転資金について考えてみましょう！！

認定農業者の方に設備資金や長期運転資金などとして総合的にご利用いただけるスーパーL資金について、平成 25 年度も貸付当初 5 年間の実質無利子化制度が継続されることとなりました。

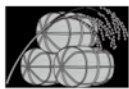
今回は、その概要をご紹介します。

<貸借対照表とは>

・貸借対照表とは、決算時点での資産(運用)と負債・資本(調達)の状況を示した表で、常に左右がバランスしているため、バランスシートとも呼ばれています。資産(運用)と負債・資本(調達)の関係では、「資産(運用)が現金化できる期間に合わせて(若しくはより長い期間で)調達を行う」必要があります。

収穫した農産物や肥料等の資材

肥育牛、肥育豚など



乳牛、母豚、果樹など



<貸借対照表>

資産科目	金額	負債・資本科目	金額		
			パターン①	パターン②	パターン③
流動資産	60	流動負債	20	50	65
当座資産	30	買掛金	20	20	20
現預金	20	短期借入金	0	30	45
売掛金	10	固定負債	105	75	60
棚卸資産	30	長期借入金	105	75	60
固定資産	90	(うち設備)	60	60	60
建物・機械	75	(うち運転)	45	15	0
生物	15	純資産	25	25	25
資産計	150	負債・資本計	150	150	150

<貸借対照表の構造と運転資金>

パターン①

「棚卸資産」及び「生物」見合いを長期借入金で調達したケース

パターン②

「棚卸資産」見合いを短期借入金で調達し、「生物」見合いを長期借入金で調達したケース

パターン③

「棚卸資産」及び「生物」見合いを短期借入金で調達したケース

- ・パターン①・・・流動比率:300%、当座比率:150% ←資金繰りは安定的
 - ・パターン②・・・流動比率:120%、当座比率:60% ←以下のとおり
 - ・パターン③・・・流動比率:92%、当座比率:46% ←資金繰りは不安定
- 棚卸資産がすぐに現金化できる場合、流動比率が100%超であれば資金繰りは特段問題ないため、パターン②でも良い。
- ・棚卸資産が肥育牛などすぐに現金化できない場合は、当座比率が100%超であることが望ましい(※)ため、パターン①が最も望ましい。
- ※ すぐに現金化できる資産(当座資産)が、すぐに支払う必要がある負債(流動負債)より少ないと、現預金が不足する可能性があるため。

$$\text{流動比率} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \quad \text{当座比率} = \text{当座資産} \div \text{流動負債}$$

<ワンポイント> 運転資金の返済財源

- ・借入金の返済財源について、設備資金の返済財源は利益+減価償却費ですが、運転資金の返済財源は利益のみです。このため、運転資金を返済するには、その分の利益を確保する必要があり、余裕を持った返済計画が必要です。
 - ・なお、乳牛は固定資産ですが、減価償却費は次の乳牛を購入(又は育成)するために使う必要があるため、これらの運転資金の返済財源は利益のみと考えた方が無難です。
 - ・また、農業は台風や天候不順、家畜の感染症などの予期せぬ災害に遭遇することも多いため、これらの予期せぬ災害・病気や突然の機械トラブルなどに対処するために、手持ちの現預金をある程度確保しておくことも大切です。
- ⇒経営を安定させるために長期運転資金をうまく調達することが有効です。

※ 詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。

⇒ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町 1-2-22 広島トランヴェールビルディング 6階

TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(7月は3日と17日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(7月は4日と18日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(7月は12日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

※ 予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。